

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立青毛小学校

【取組内容②】 地域や外部専門家と連携した授業実践

【6年生 総合的な学習の時間の取組「ぼくのわたしのSDGs」】

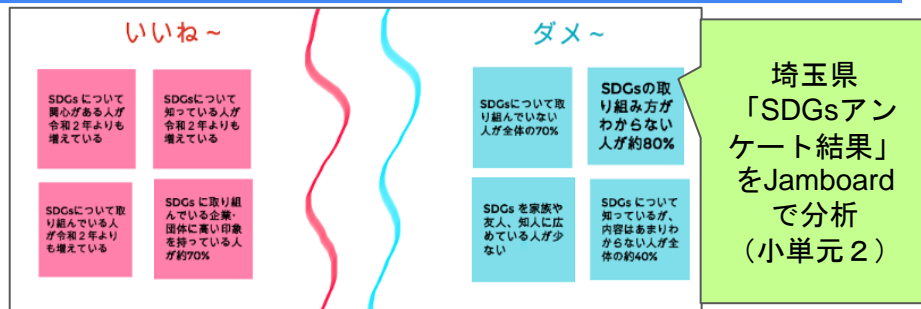
1学期には、児童一人一人が「SDGs」について疑問を見つけ、調べてまとめる活動を行った。（小単元1）

その後、埼玉県「SDGsアンケート」の結果を分析し、児童がさらに課題を見つけた。その分析結果をもとに、青毛小学校でできる取組を小グループで考え、実践を進めた。（小単元2）

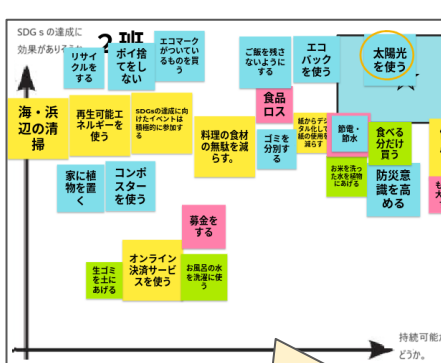
小単元2の学習を活かし、「学校・家庭・地域」の3グループに分かれ、3～4人のグループごとに自分たちができるSDGsの取組を話し合い、活動を進めている。（小単元3）

家庭グループでは、保護者やPTA、スーパーマーケット等との連携を図りながら、活動を進めている。また、地域グループでは、地産地消の取組を進めている農家に直接話を聞いたり、オンラインを通して、給食センターの栄養教諭に食品ロスに関わる質問をしたりするなど、活動を進めることができた。

Google フォームで各学年にアンケートを取ったり、クラウド上で共有できるデザインツールを活用してポスターを作成したり、Chatを通してグループの取組を共有したりするなど、児童は自分たちでクラウド活用しながら、学習を効果的に進めることができた。



埼玉県「SDGsアンケート結果」をJamboardで分析（小単元2）



6. 久喜市ではどのくらいの給食が残っているのですか？

A. 久喜市全体では、4月から11月までに80278kg (11.7%)の給食が残りました。青毛小は2626kg (13.7%)の給食が残っていました。

追加. 青毛小は小学校全体で何番目に残菜が多いですか？

A. 残菜率が一番高い小学校は16.9%、一番低い小学校は9.4%です。青毛小は21校中4番目に残菜率が高いです。

10. 小中学校全体で残しもの多いとどんな気持ちになりますか？

A. 悲しい気持ちです。同時に残り物が少なくなるようならもっと美味しい給食を考えようと思います。

15. 残った食べ物は動物の餌などのリサイクルをしていますか？

A. していません。もやせるゴミとして回収してもらっています。

座標軸やピラミッドチャートを用いて、活動内容を決定（小単元3）

オンラインでの外部専門家（栄養教諭）との連携 オンライン後に質問事項を共有